

2022年度発足 水戸学区自主防災会について

《報告内容》

1. 水戸学区の紹介
2. 自主防災会設立の経緯
3. 2022年度自主防災会の活動



湖南省防災士連絡会「防災活動報告会」
開催日：2023年1月21日(土曜日)
開催場所：湖南省の文化ホールにて

1. 水戸小学校区の紹介



①水戸学区の歴史



②水戸学区の特徴

(9) 水戸小学校区

参考資料 1

総人口	5,495 人	世帯数	2,595 世帯
高齢者 (65 歳以上)	909 人	高齢化率	16.5%
一人暮らし高齢者数	182 人	生産年齢人口割合	69.4%
外国籍人口 (率)	983 人 (17.9%)	自治会数	3
民生委員・児童委員数	11 人	自治会加入率	75.5%

高齢化率や自治会加入率等、考察を入れたいところですが・・・。

世界各地？

《水戸学区の住民の特徴》

全国各地からの移住者で構成されており、**横の繋がりが希薄。**

《悪い点》

* 周りに関心も薄く高齢化すると**孤立化しやすい。**

《良い点》

* 人付き合い等の**煩わしさが無く住みやすい。**
* 境遇が一緒に**新たな取り組みがしやすい。**

③地域運営組織の見直し

2021年度以前

団地自治会とまち協が同じ土俵で活動しており、地域組織として活動が一体化していない。

行政

委嘱

区長
(行政取扱委員)

ボランティア

自治会
(3区合同)

水戸学区
まち協

2021年度見直し

行政指導で地域運営組織の見直しにより、自治会とまちづくり協議会の協働の地域運営組織に転換。

行政

委嘱

統括行政取扱委員

区長 (行政取扱委員)

自治会
(3区合同)

水戸学区
まち協

③地域運営組織の見直し

地域組織の主な変更点

1. まち協の組織変更

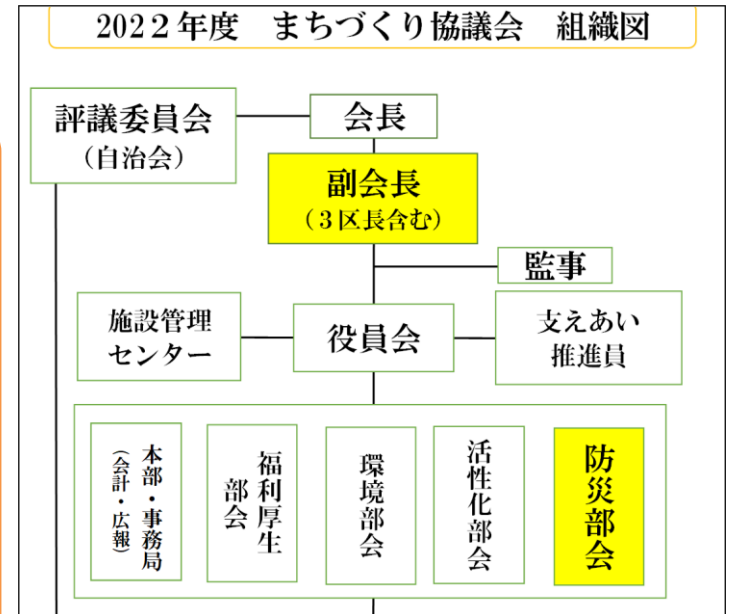
3区の区長(自治会長)をまちづくり協議会の副会長に組織変更

2. 会議体の見直し

自治会役員会にまち協役員の参加で情報の共有化⇒1回/月

3. コミュニティプランの策定

自治会・まち協(各種団体含む)が協働で地域の目指す姿を協議し
コミュニティプランを策定
⇒2022年度より活動



2022年4月1日作成

水戸学区
"できる事をできる範囲"で活動する
コミュニティプラン
"だれもが笑顔で喜らせる街づくり"

このコミュニティプランの役割

このコミュニティプランはボランティアで活動しているまちづくり協議会と湖南工業団地自治会が、現有している資源で"できる事をできる範囲"で活動するための活動プランです。
※湖南市提供の「地域まちづくり構想」や資料を使用

今後、優秀な人材が現れて高い地域愛を持ってコミュニティプランを策定し実践して頂くことを期待しています。

水戸学区まちづくり協議会
湖南工業団地自治会

④水戸学区コミュニティプラン

《5年後になってほしい地域の姿》

“だれもが笑顔でくらせる街づくり”

1. 住みやすい環境の街

☆いつもきれいで住みたくなる街づくり



3. ふれあいの街

☆世代を超えてふれあえる住み続けたい街づくり



2. 安心・安全な街

☆みんなが安心して暮らせる街づくり



4. 支えあいの街

☆子供や高齢者が安心して暮らせる街づくり



④水戸学区コミュニティプラン

《5年後になってほしい地域の姿》

“だれもが笑顔でくらせる街づくり”

2. 安心・安全 な街づくり

☆みんなが安心して暮
らせる街づくり)



○防災・防火設備の維持管理	○自治会
○地域防災訓練の実施	○まち協・○自治会
○通学見守り隊の活動	○まち協
○あいさつ運動の実施	○まち協
★自治会 防災組織の新規立上げ	○自治会・△まち協
★まち協 防災部会の立上げ	○まち協・△自治会

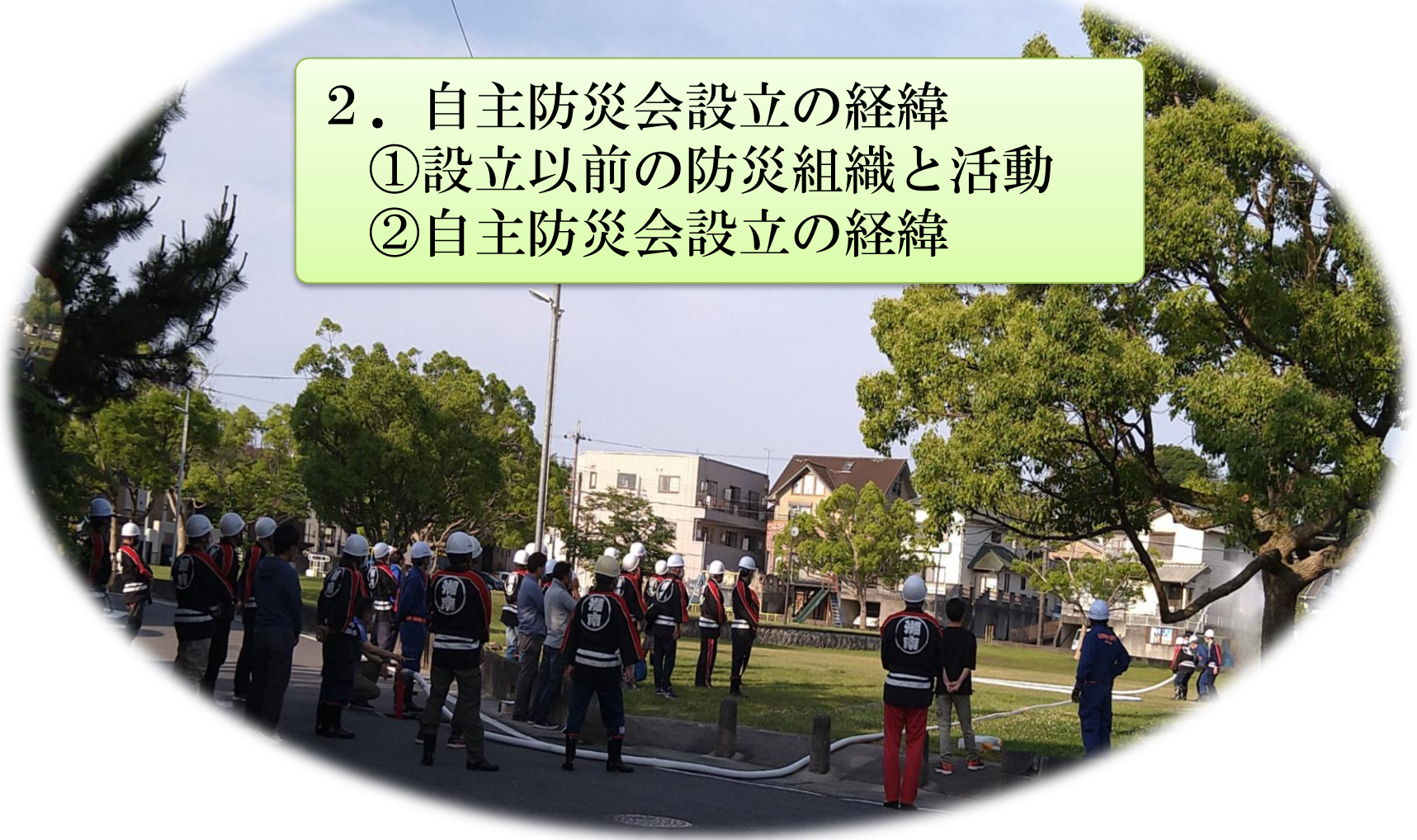
特にこの地域は同じ土壌で活動
しているので、**分担を明確に!**

2. 自主防災会設立の経緯

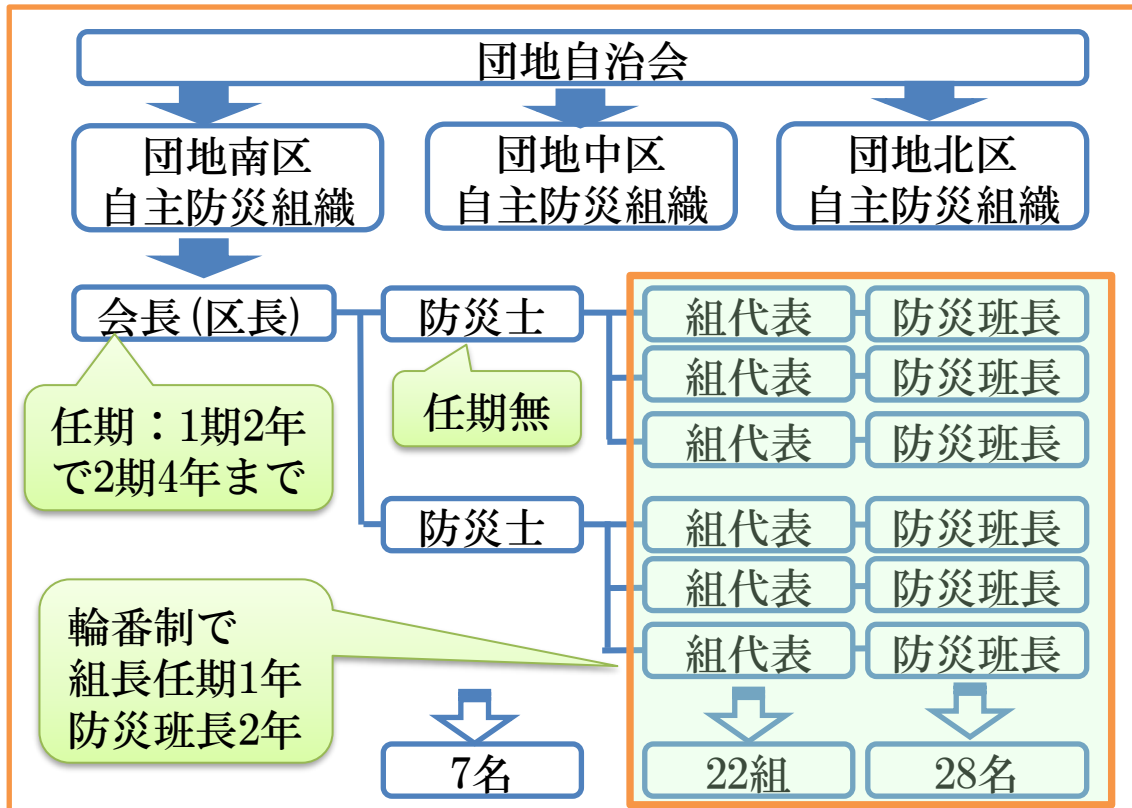
2. 自主防災会設立の経緯

① 設立以前の防災組織と活動

② 自主防災会設立の経緯



① 設立以前の防災組織と活動



【活動内容】

- ① 湖南省防災訓練に併せて避難訓練⇒1回/年
- ② 各地区防災会議参加⇒2回/年
- ③ 第三分団 消火訓練への参加⇒1回/年
- ④ 各組の消火機器の点検

【反省点】

- * 丘陵地に造成された地域で、**災害リスクも低い**ことから**防災意識が低い!**
- * 活動の主体は消火機器の点検が主で、**活動が形式的。**
- * よって**防災士の活躍の場も無い!**

【防災士の役割】

任期の観点からも**地域防災の核**として**防災士の役割が非常に重要**であり、**活躍の場づくりが必用。**

湖南省防災士連絡会の設立は大きな転機に!

②自主防災会設立の経緯

2019年以前：ふるさと防災チームを軸に各区(自治会)毎の自主防災組織で形式的な活動で**防災士の活躍の場が無い**

2019年：湖南省市防災士会設立準備会が開始し、**11月に湖南省市防災士連絡会が発足**

地域に受け皿が無い

2021年：湖南省市防災士連絡会の受け皿として、**水戸防災士会を発足**させ活動を開始する。1回/2か月
⇒各区防災組織から**地区全体**としての防災組織が必要。
⇒**水戸学区自主防災会設立に向けて準備を開始。**

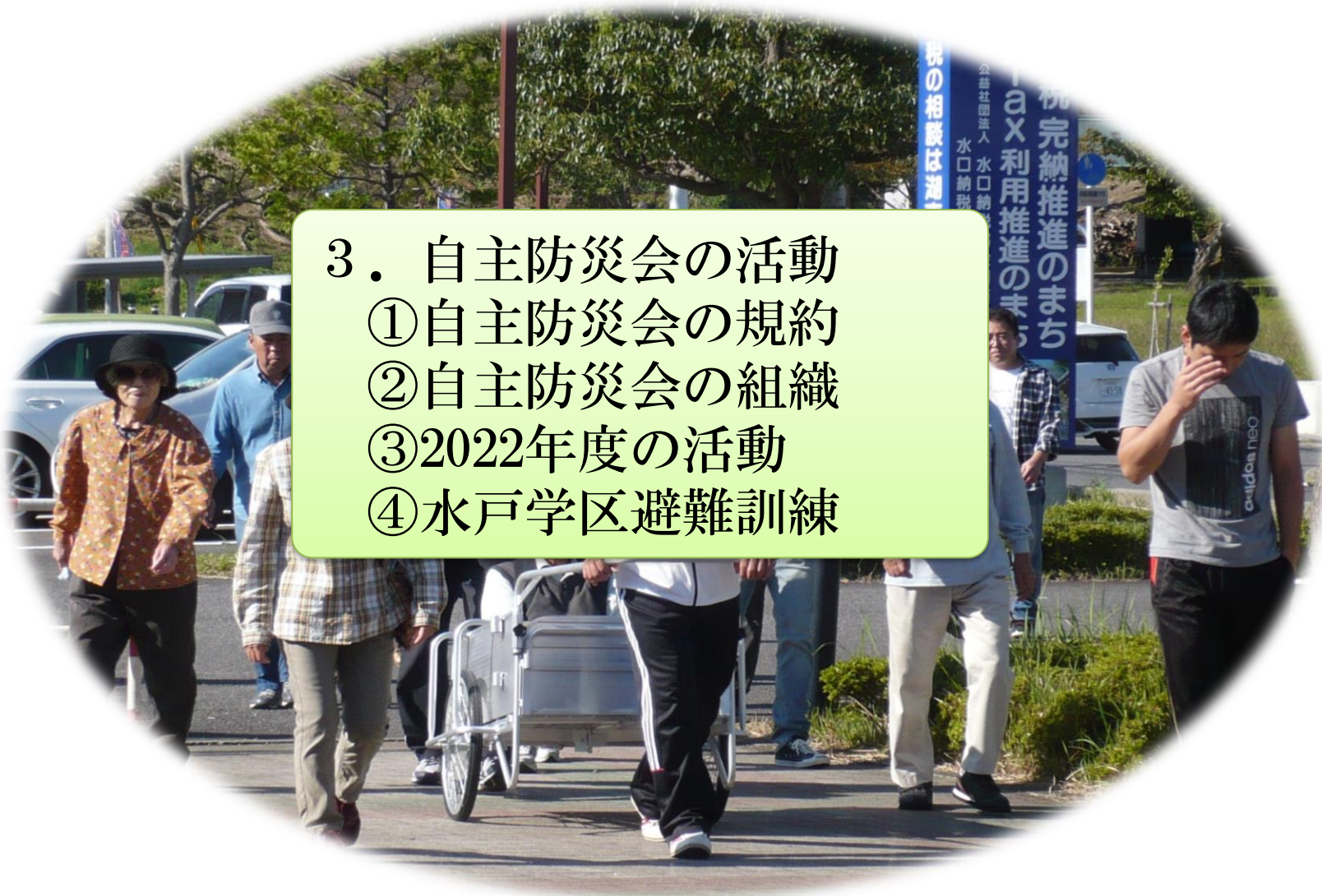
2022年4月16日に総会を開催し

水戸学区自主防災会を設立

3. 自主防災会の活動

3. 自主防災会の活動

- ①自主防災会の規約
- ②自主防災会の組織
- ③2022年度の活動
- ④水戸学区避難訓練



①自主防災会規約

【目的】第3条 本会は地域住民の扶助の精神に基づく**自主的な防災活動**により、地震などの**災害による防止及び軽減**を図る事を目的とする。

【活動】第4条 本会は前条の目的を達成するため次の活動を行う。

- (1) 防災に関する知識の普及に関すること
- (2) 地震等に対する災害予防に関すること
- (3) 地震等の発生における初期消火、避難誘導、避難所運営、救急救援、情報の収集・伝達の応急対策に関すること
- (4) 防災訓練に関すること
- (5) 防災資機材などの整備に関すること
- (6) その他本会の**目的を達成するために必要な事項**

【班の配置】第5条 本会は前条の活動を遂行するため次の班を置く。

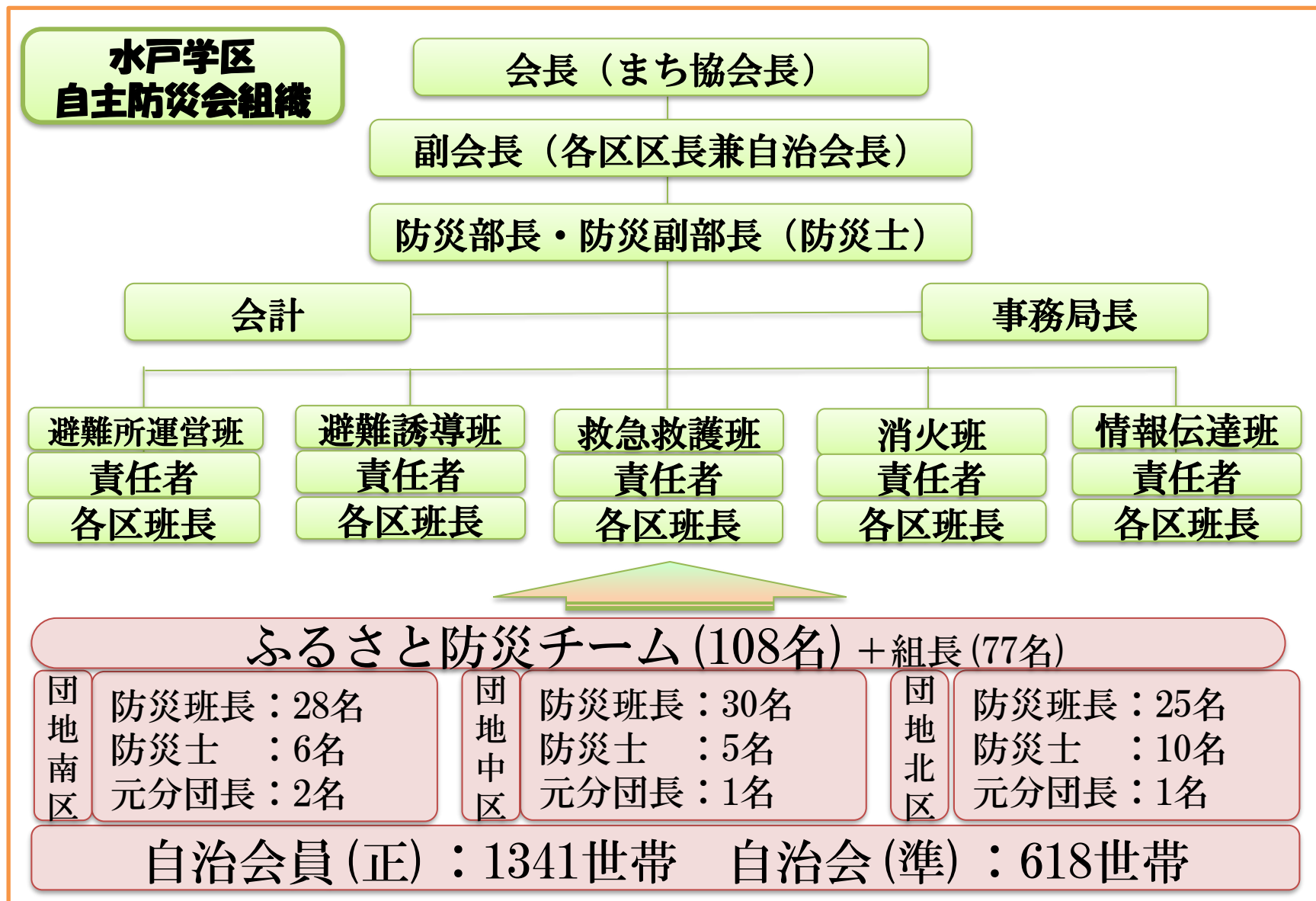
- (1) 情報伝達班 (2) 消火班 (3) 救急救護班
- (4) 避難誘導班 (5) 避難所運営班

【役員会】第11条

- (1) 会長・副会長・防災部長・防災副部長・事務局・会計・各藩責任者で構成(13名)
- (2) 2か月に1回開催

【会員】第6条 本会は**自治会員をもって構成**

② 自主防災会の組織



③2022年度の主な活動

- * 役員会の開催⇒1回/2か月
- * 防災訓練計画立案と実施⇒湖南省防災訓練に併せて
- * 各部会の活動
 - ・ 情報伝達班⇒伝達機器の使用訓練
 - ・ 消火班 ⇒消火栓・ホース格納箱設置マップ作成
 - ・ 救急救護班⇒AEDの使用法訓練・AED配置マップ作成
 - ・ 避難誘導班⇒避難経路の確認と作成

成果は地域防災について議論する場ができた！



④避難訓練の実施（10月2日）

【過去の避難訓練】

自治会ふるさと防災チームと自由参加の自治会員で訓練

- ⇒関心もなく**参加率も悪い**
- ⇒形式的な訓練



【今回の訓練】

*自治会員は**玄関先避難**で防災訓練への**参加意識の把握**に重点を置いて訓練

- ⇒**参加率をベンチマーク**として今後の活動に生かす。

***避難所訓練**は**自主防災会**の**各班の行動訓練**とする

- ⇒今後の避難訓練等の活動に生かす。



④避難訓練の実施（チラシ全戸配布）

水戸学区の住民の皆様へ

水戸学区防災避難訓練実施のご連絡

表

防災避難訓練に合わせて、今回、水戸学区では地震被害を想定した住民避難訓練を下記の要領で実施致します。皆様、是非ご参加お願い致します。

記

【日時】 2022年10月2日(日) 午前8時 サイレン吹鳴〔雨天決行〕

【内容】 ①サイレンが鳴りましたら、住民の皆様は、**ご自宅前(外)に出てください。**最低1世帯1名お願いします。

②組代表及び防災班長が、サイレン後から8時10分までの間に各組員様のご自宅をまわりますので、各ご自宅前で、安全確認のチェックを受けて下さい。少々お時間がかかるかもしれませんが、**安全確認のチェックを受けるまでは中に入らず、ご自宅前で待機していただくようお願い致します。**

③各組員様の安全確認が終わりましたら、**住民の皆様はそこで訓練終了となります。**

例年の訓練方法と異なっておりますのでご注意ください。



※外に出られるときはマスク着用願います。

自治会本部役員・スポーツ振興委員・組代表・防災班長・防災士・元消防分団長
まち協本部役員・民生児童委員は…

1. 各組員の皆様の安全確認終了後、一時避難場所にて確認状況報告、説明及び訓練をおこないます。

〔一時避難場所〕 北区：若竹公園 中区：中区草の根ハウス
南区：ワンワン山公園

2. その後、避難所の水戸小学校に移動します。

主催：水戸学区自主防災会

裏

10月2日(日)

AM8:00

サイレンが鳴ったら

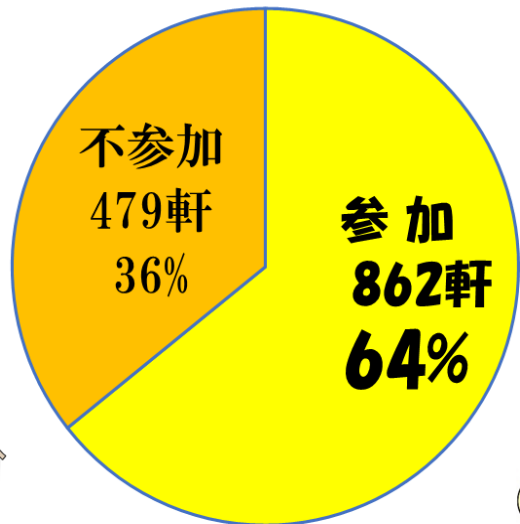
ご自宅玄関前(外)に

避難！！

④水戸学区避難訓練

玄関先避難結果

訓練内容:サイレンが鳴ったらご自宅玄関前避難結果!



対象世帯:1341 参加世帯:862 約64%

	世帯数	%	備考
水戸学区(全体)	2,595		
自治会未加入者	636	24.5%	外国籍・集合住宅
自治会員(全体)	1,959	75.5%	
(正規)	1,341	51.7%	一戸建て
(準会員)	618	23.8%	集合住宅等

【結果に満足】

参加率は**20%**ぐらいと想定していたが、結果は**想定以上**でびっくり!



【玄関先避難の利点】

- * 費用が**安い**(チラシのみ)
- * 住民の**顔が見える**
- * 玄関先で**会話が弾む**
- * 玄関に出れない人も**窓越しに参加**



今後も**継続実施**で**参加率向上**に繋げたい。

今後の取組むべき課題

今後の取組む課題

1. 自治会未加入者への対応
2. 外国人居住者への対応
3. 要支援者への対応と訓練方法
4. 避難所運営の展開方法

まず活動の基盤
づくりを進めな
がら随時、課題
に取り組む

最後に

本地域は歴史も浅く、過去の災害経験が無い事から、防災意識の低い地域ですが、今後**自主防災会の活動を通じて防災意識向上や地域の絆づくりに**繋がればと考えます。

尚、「自主防災会の設立」や「地域運営組織の一体化」等、**行政指導が有ったからこそこの成果**だと思えますので**今後共、行政のご指導・ご支援**をよろしくお願い致します。

行政が動けば地域は変わる！

逆もまた真なり



2022年度発足 水戸学区自主防災会について

ご清聴ありがとうございました

だれもが笑顔でくらす街づくり

